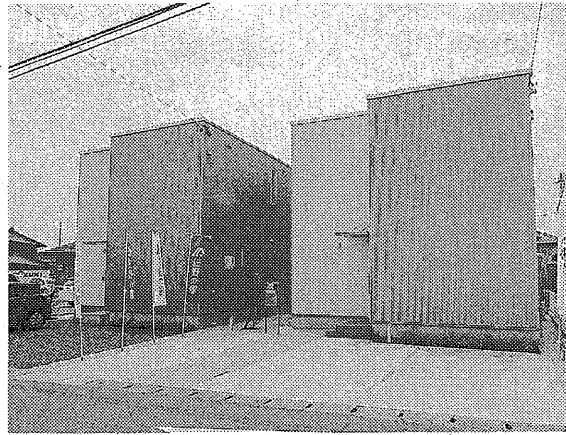


# 新型空調 違いを体感

## 佐野テック

三重県菰野町に建設した展示施設



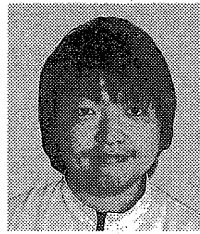
展示施設は、三重県菰野町潤田大霊に開設。建物は2棟で、いずれも2階建て

橋りょう部品の製造販売や建築工事、リフォームを手掛ける佐野テック（本社三重県菰野町、佐野貴代社長、電話059・391・0200）は、三重県菰野町に新たな空調システム「光冷暖」の体験用展示施設を開設した。一般消費者などをターゲットに、完全予約制で見学会を実施。今後、自社開発する住宅に光冷暖を組み込み販売するほか、既存住宅などへの設置も提案する。

（四日市・山田駿太）

## 菰野町に展示施設 住宅などへ設置提案

延べ床面積は約70平方メートル、間取りは3LDK。1棟に通常のエアコン、もう1棟に光冷暖を整備することで、冷暖房効果の違いを体感できるようにした。



佐野貴代社長

光冷暖は、表面をセラミックでコーティングした冷暖房装置を各階に設置。屋外のヒートポンプから送り出す冷水や温水を冷暖房装置の内部で循環させることで、遠赤外線効果で室内を

冷やしたり温めたりする仕組み。壁・天井のしつこいや壁紙、カーテンにもセラミックの加工を施すことで遠赤外線効果を高め、冷暖房の効率を上げる。

光冷暖を採用することで騒音や風の発生を抑制できるほか、室内で生じるほこりの削減にもつながる。部屋の温度差も小さくなる。消費電力量は、エアコンで同じ容積の空気を冷やしたり温めたりする場合に比べ、半分以下になる。

施工費は、展示施設と同規模の建物で150万円から。一戸建て住宅だけでなく、工場や事務所、店舗、公共施設などにも提案する。

佐野テックは昨年、住宅設備を企画開発するアニーグループ（本社福岡県）と

特約店契約を結び、光冷暖の取り扱いを開始した。

佐野社長は「多くの皆さまに展示施設に足を運んでいただきたい」と話している。

同社は1932年創業。2017年7月期の売上高は約20億円。